

てこな・ミュージズ・ジャーナル

市川市民文化サポーター 企画事業のご案内

基礎講座とステップアップ講座

市川市民文化サポーターという言葉をご存知でしょうか？「市川の文化芸術市民案内養成講座」を修了された方々のことです。すでに1期生と2期生が卒業なさっています。2006年に始めた事業ですが、文芸、美術、音楽と3コースあって、基礎講座9回。ステップアップ講座を4回受講します。音楽を例に内容の説明をしますと、講座講師は指揮者から演奏家までさまざまな方。演奏会企画をするための興味深いお話をしていただき、そこで基礎知識を得ます。そしてステップアップ。これはまさに「企画しましょう」をコンセプトに、美術の場合は展示の実際まで、音楽の場合は演奏会実践にいたるまでを目標にしています。全体が終わるのにはほぼ半年かかり、2/3以上出席の条件を満たした方にはサポーター・ライセンスと、活動の折に、胸に下げる名札を差し上げます。名札には「市民文化サポーター」とお名前が書き込まれています。

7月27日 音楽美術コラボレーション企画 美術の場合

2007年度講座修了者たちが、7月27日に市川市文化会館地下の展示室と大会議室を使って、初めての「コラボ企画事業」を披露します。

美術の場合、ガラス工芸、染色、洋画、日本画、彫刻など。展示計画、キャプション作り、当日いらした方に渡す資料作成など、考えると気が遠くなるほどの手順があります。

展示という一言ですが、実際にやってみると大変です。空間は床から天井まで4メートル、広さは400平方メートルもあります。興行きのある巨大空間に壁などを作って、ごらんになる方が興味深いように、導線をスムーズに見やすく展示しなければなりません。

音楽の場合

美術と同様に、音楽コンサートへの道のりも平坦ではありません。

サポーター企画の音楽会のコンセプトの1つが、新人演奏会オーディション合格者出演というものです。市川市文化振興財団新人演奏会オーディションは毎年8月末から9月にかけて行われ、各部門で最優秀者と優秀者が3人ほど選ばれます。7月27日の演奏会のための奏者も新人演奏会出身のヴァイオリンの



市川市文化振興財団 音楽総合プロデューサー 小坂 裕子

方お2人に決まりました。ピアノと一緒にトリオ、さらにゴスペルも加えようという事になりました。

美術の展示は朝から夕方までなので、トリオとゴスペル交互で45分を4回に、コンサート名は「ひまわりコンサート～気軽にファミリーで～」。入場は無料と決まりました。

役割分担

次は役割分担です。コンサート前に必要な役割はチラシ、プログラム作り。当日は、司会、会場案内、扉、演奏家係り、照明、音響操作など。仕事は一杯あります。

チラシ作成も結構大変です。出演者の画像、プロフィールを入れて、チャーミングなデザインにしなければなりません。できあがると市内各所にあるチラシ・スタンドなど許可されている場所に入れます。

8月3日 「午後のバロック」

7月27日より後なのに、もうチラシも出来上がっているサポーター企画演奏会があります。実はこれは、1期生の方々の企画です。1年近く会議を重ねながら、会場下見、出演者との交渉、曲目、チケット料金などなど、多くの山を越えて、やっとここまでたどり着いたという印象です。

「ミラノで出会ったミュージズたち」とのサブタイトルがついているチラシは素敵でデザイン、とサポーターの方々も満足しています。曲目はクーブラン、ラモー、スカルラッチィなどバロックの名曲。奏者は松岡友子さんのチェンバロを中心に、リコーダー浅井愛さん、ソプラノ中原友子さん。きっと素晴らしい演奏会になることでしょう。本番当日もサポーターの方々会場全体さまざまな場所で活躍なさいます。

第3回市川の文化芸術市民案内養成講座 参加者募集

このような市民文化サポーターの企画事業は今後も続きます。サポーターになるにはどうしたらいいのかとお尋ねになりたい方がいらっしゃるでしょう。間もなく第3期市川の文化芸術市民案内養成講座募集と銘打って、イベントガイドの今月、7月号と広報にも告知が出てくることになっています。ぜひ応募なさってください。でも抽選になることが多く、ご希望通りになるかどうかは分かりません。ただ講座を修了しサポーター・ライセンスを取得されると、さまざまな演奏会でのボランティアスタッフ、ここに書きましたような事業の企画をみなさんと考える会議に参加していただくことができます。お知りあいの輪を広げている方も少なくありません。知識と知恵を得て、市川の文化芸術市民案内人として活動なさいませんか？